

ベルマーク新聞 7月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

全国1位で表彰、「団結力も日本一」

ショウワノートの第49回ベルマークキャンペーン



①保護者の皆さんも一緒に。前に並んでいるのは記念品 ②表彰状を読み上げる水鉤富雄社長 ③懇親会は終始和やかな雰囲気 ④今年、学校創立119周年を迎えた。120周年を迎える来年はベルマークで記念品を購入予定

協賛会社ショウワノート（ベルマーク番号53）が実施した「第49回ベルマークキャンペーン」の表彰式が6月20日、全国1位となった東京都台東区の区立松葉小学校（松尾敦校長、児童241人）で開かれました。先生方や保護者、児童代表2名が集まり、表彰状と記念品の図鑑や絵本、ノートなどが授与されました。

このキャンペーンは、2022年1月から12月までの1年間、同社のジャポニカ学習帳などについているベルマークの集票点数を競うもので、全国1位と全国8ブロックの上位3校を表彰しています。今回松葉小は、9378点を集め全国1位となりました。

式では、ショウワノートの水鉤富雄社長が「ベルマーク運動は自分たちの学校

の備品を充実させるだけでなく、へき地や被災地の学校支援に役立っています。その目的を心にとどめながら活動に取り組んでいただければと思います」と活動の意義を述べました。松葉小PTA会長の川崎常光さんは「子どもたちにとって、小規模校でも力を合わせれば全国1位が取れるという素晴らしい経験になりました」。松尾校長は「全国1位ということは松葉小の保護者の団結力が全国1位だということの証明です。贈られた本で図書館が更に充実することを大変ありがたく思います」と感謝を伝えました。

児童を代表して天野優月さん（6年）に表彰状が、ベルマーク活動を担うPTA学級委員長の阿部園佳さんに記念品が、それぞれ水鉤社長から手渡されました。

挨拶に立った阿部礼奈さん（5年）は「ノートを使い終わると後ろにあるベルマークを切り取るのが私たちの習慣です。これからも全校児童でベルマークを集めていけるように協力していきます」と話しました。

表彰式後は、ショウワノート、松葉小、PTAのみなさんとの懇親会が開かれ、ベルマーク集めの工夫などについて話が弾みました。

「すべては子どもたちの笑顔のために」が合言葉の松葉小PTAは、餅つき、献血、防災訓練など活動が盛んです。ベルマーク活動は、PTAの学級委員会18人が担い、年4回、マークを仕分け・集計しています。来年の学校創立120周年の記念には、貯めたマークを使い、記念品

を購入する予定とのことです。



現在、第50回目のキャンペーンを実施しています。2023年1月1日～12月31日までの間に、ベルマーク財団で検収を終えたマークが対象です。エントリーの必要はなく、いつも通り財団に送ると自動的に集計されます。

たくさん集めてくれて、
ありがとう!!



企業と企業が手を取り合い、地元を応援

千葉ジェッツふなばし、石井食品、キリンビバレッジの3社

千葉県船橋市をホームタウンとするバスケットボールBリーグの千葉ジェッツと地元を応援しようと、協賛会社の石井食品（ベルマーク番号93）とキリンビバレッジ（同54）が共同でキャンペーンを実施し、集まったベルマーク2万6千点を船橋市立船橋特別支援学校（兼坂尚貴校長、児童・生徒419人）に寄贈しました。

昨年始まったキャンペーンに、今年は、船橋市に本社があり、千葉ジェッツのオフィシャルパートナーでもある石井食品が加わりました。

6月19日、金堀町の校舎で関係者が集まり、寄贈式が開かれました。キリンビバレッジ首都圏統括本部の高井美奈支社長が「大事な活動の一つとして、今後も3社

一緒に続けていければ良いと思っています」と挨拶。石井食品の石井智康社長は「食品会社として生産者と子どもたちをつなぐ活動に力を入れています。今回実際に学校を訪ねさせていただき、受け取る方と直接お話をする機会が大変貴重だと思いました」と述べました。同校はもらったマークでポッチャセットを買う予定です。



このキャンペーンは、「千葉ジェッツと一緒に千葉防災キャンペーン」と題して、今年1月に千葉県内の量販店などで実施。キリンビバレッジと石井食品のベルマークをハガキに貼って応募すると、千葉ジェッツの試合チケットなどが当たるという内容でした。



右から田村征也・千葉ジェッツふなばし社長、生徒会長の鈴木裕理奈さん（高3）、副会長の畑虎之介さん（高2）